

美園中だより



さいたま市立美園中学校

Tel 048-878-0019

<http://misono-j.saitama-city.ed.jp/>

第5号 令和7年8月27日

学校教育目標

『知性・自律・健全』

～世界へ・未来へ～

☆知性「知を磨き」

☆自律「自らを律し」

☆健全「心身を鍛える」

要の学期を楽しむ

校長 坂口 洋美

夏の暑さが年々厳しくなっている気がします。今年も連日激しい暑さに見舞われている日本列島ですが、そろそろ秋の気配を感じたいものです。

さて、今日から2学期が始まりました。2学期は合唱コンクール、未来くるワーク、駅伝競走等、行事も多く、学習も1学期学んだことを土台にしてさらに深く学んでいきます。行事の面でも学習の面でも要となる学期と言えます。どの学年も1学期は進級した学年や新しいクラスに慣れるのに一生懸命になり、緊張する場面も多かったと思います。さらに3学期は、まとめの学期となり次の学年や進路に向けての準備も多くなるでしょう。ですから、2学期こそが、どの学年ものびのびと勉強や行事、部活動に精一杯取り組める学期となります。どの学年も、「学年の要(かなめ)」となるのが2学期なのです。

「要」とは何でしょう。語源は、扇の要です。要は扇の骨を留めるのに用いる釘、もしくは扇の骨を留める場所を指します。要がなくては、扇はバラバラになり、使い物になりません。要がしっかりしていることが大事なのです。要つまり「要になる」とは、物事を中心、最も重要な部分になるということです。この2学期が一人ひとりにとって、充実した学期となることを願っています。



先日、さいたま市の先生方を対象とした教育講演会が行われました。今年の講師は元浦和レッズの選手で日本代表としてだけでなく、海外のクラブでも大活躍した小野伸二さんでした。小野さんの現役時代を知る方なら誰もその活躍の凄まじさは知っていると思いますが、ご本人はとても親しみやすく、笑顔で幼少期から今日までのサッカー人生を語っていただきました。幾つか印象的だった話がありましたが、その一つは、人との出会いに恵まれたサッカー人生だったということと、そこから生まれた感謝の気持ちを大事にしているという話を繰り返されていたことです。天才的な実力と人知れず取り組んできた努力があるはずですが、そのことは出さず、周囲への感謝を述べる姿に、本物の凄さ・強さを感じました。また、学校は「楽しい」所ではなく「楽しむ」所だという話もとても心に残りました。楽しめる何かを見つけることが大切だということでした。

2学期、皆さんはどう取り組み、どう「楽しむ」でしょうか。